

ベルマーク活動 わが社は協賛会社に聞く

ショウワノート

ベルマーク運動の協賛会社へのインタビューシリーズ「私の会社とベルマーク」。14回目はショウワノート株式会社です。1970(昭和45)年に協賛会社へ加入後、独自のベルマークキャンペーンを続けています。社長の片岸茂さんと企画部の中村厚也さん、三浦美保さんにお話をうかがいました。(聞き手・和田直子)

喜んでもらえる学習帳

—46年もの間、ベルマーク運動にご協賛下さりありがとうございます。長年ベルマーク運動を応援して下さる理由は何ですか？

ジャポニカ学習帳の知名度が低かった頃、より売れる商品にするために色々な付加価値をつけました。その一つがベルマークで、他社と差別化できて、子どもたちに一番喜んでもらえる学習帳を作ろうという考えで協賛しました。

近頃、PTAの方々にとってベルマークを集めるのが面倒だというお話をよく聞きます。その分をお金で差し上げた方がいいという声もありますが、地域・家族・子どもたち・先生の中での活動を通じた連帯感が大事だと思います。「ジャポニカ学習帳を使うことによって学校の設備が良くなる」というベルマーク運動本来の意味をよく考えていただくためには、まだまだ続けていきたいと思っています。

—毎年実施されている、ショウワノートベルマークキャンペーンについてお聞かせください。

ジャポニカ学習帳の認知度が高まってきた時期に始め、2016年で43回目に入りました。現在は小学校の部(全国8ブロック)、及び小学校以外の団体の部(2部門)から成り、毎年1~12月の1年間の換取結果をもとに、集票点数が上位の学校に表彰状と記念品を贈呈しています。小学校以外の部では、2年連続で中学校が全国1位になりました。

—キャンペーンを長く続けられている理由は何ですか？

社会貢献の一環だと考えています。全国でこれだけベルマークを集めていたのを見ると、やっけて良かったと思います。少しでも学校の設備の助成につながる、もしくは弊社が独自で差をつけている図書・教材等々の記念品を喜んでいただけるのであれば、続けていこうと思っています。

弊社のベルマークはダブルのサービス、つまり「ベルマーク運動」への協賛+「ショウワノート」独自のベルマークキャンペーン)を行っており、学校にとっては2倍の点数がついているのと同じだと考えて使っていただくと嬉しく思います。

—社員の皆様は、ベルマーク運動をどのように捉えていますか？ また、商品にベルマークをつけている事の価値や、効果を感じるのどのような時ですか？

キャンペーンの表彰に同った学校で、全校生徒がお礼に歌を歌ってくださったことがあります。何回練習したのだろうというくらい上手でした。涙が出そうほど嬉しく、ベルマークキャンペーンをして良かったと思いました。

弊社では、工場と一部の部署を除く100名ほどの社員がほぼ全員に、表彰校での贈呈経験が一度はあります。社員が小学校へ直接伺うことでジャポニカ学習帳のPRにつながるのではという思いで行っています。その際、PTAの方からベルマークの良さや収集の苦勞、地域のお店にも箱を置くなど様々な工夫をして下さっているお話をうかがうと、マークを付けて良かったと思います。

ものづくりの原点継承

—創業地の高岡(富山県)に本社を置かれているのはなぜですか？

創業者が高岡出身なので、創業の地に本社を置くことというのは、ものづくりの原点を引き継ぐということだと考えています。2年後の完成を目指して、今年から建て替え予定なのですが、本社も工場も立地を変えずに建て替えるつもりです。

—CSR活動、東日本大震災への取り組みについてお聞かせください。

法政大学におられた鶴田佳史先生に産学共同での取り組みをご提案いただき、富山県立大学・大東文化大学とも共同で「産学ワークショップ」を富山県を中心に6年ほど行いました。ご提案の内容が、安心・安全の環境配慮型の商品作りという弊社の企業理念や、ジャポニカ学習帳のコンセプトにぴったり合うという事もあり、社員も勉強し、環境に良い商品を作り上げていこうと始まりました。大学生を先生にして地域の子どもたちと植樹や遊びを取り入れた環境学習、里山の研究などを行いました。現在は、先生のゼミ生が卒業したためいったんお休みしていますが、引き続き、先生方には新工場への環境の取り組みに関するご提言を頂いています。

新工場では、ノートが出来る過程や学習帳の歴史を子どもたちが勉強出来るような、また近隣のの方々や観光にお見えになった方にも弊社をご理解いただけるような場をご提供予定です。

東日本大震災への支援としては、当初は避難所の子供どもたちのために、ペンてる株式会社さんと共同で、スケッチブックとクレヨンやチャーター便でお届けしました。

以降もジャポニカ学習帳にご縁のある地域の活動を通じて支援を継続しています。一例として、落語家の林家正蔵さんが特別審査員をつとめられている、福島県須賀川市の「作文絵画コンクール」に協賛し、表彰式にも伺っています。自分の未来や、須賀川がどんな町になって欲しいかなど、年に一度テーマを設けて学年ごとに募集・表彰をします。以前は被害状況を描く絵が多かったのですが、段々と未来に向けて「こうしたい、ああしたい」という絵が増え明るくなってきました。

作文も、小学生でよくここまで書けるなど思うような良い作品が多いです。主催者であり、表彰式を取り仕切らせて下さっている、須賀川市の青年会議所の方々もとても熱心で頭が下がります。

—今後ベルマークで新たに展開していきたい事はありますか？

弊社がキャンペーンの記念品として贈呈する中身について、学校においてはそろそろ違うものを希望されているのかなと感じる事があります。教科書のデジタル化に伴い、これからノートがどのように変化していくかわかりませんが、学校・子供たちにとってより有効に活用出来るようなベルマークの使い方・収集の仕方をしていきたいと思っています。

—昨年、昆虫の表紙のジャポニカ学習帳が復刻されました。定番化される予定はありますか？

弊社では「どんどん失われていく自然を守る」という事を、表紙を通して伝えたいと考えています。表紙を撮影している写真家・山口進先生の研究テーマの一つも、自然と人間との「共生」で、私どものコンセプトと一致しています。昆虫の表

紙も花と同様、ありのままの自然を子供たちに見せるためのものなので、今後の課題にしたいと思っています。

デジタル対応を研究中

—これから、ノートにどんな夢をのせてゆきたいですか？

文部科学省が、2020年を目処にデジタル教科書の導入方針を打ち出し、教育現場でデジタル機器の導入が進んでいきますので、我々の業界ではそれに伴うノートの必要性とあり方を研究しています。鉛筆を使って紙に書くのとタッチペンなどでタブレットに書くのとでは、役割が全く違うという事をご理解いただくと共に、我々もデジタル機器に合う学習帳を作るなどの工夫をして、上手に共存できるように研究していきたいと思っています。

ジャポニカ学習帳が、学校教育とより深くつながるよう、進化した商品を2020年までには出したいと思っています。



3個分にあたる6万平方メートルもあるNEWクラップの生産工程の説明を受けました。原料の約70%は塩に由来するそうです。別の工場へ加工された原料を溶かして大きな風船状に膨らませ、ローラーで巻き取った後、両端を切った2枚のフィルムに加工します。そのフィルムを20メートルや50メートルのサイズに裁断し、それぞれ紙管へ巻き取るという順で生産します。

食べ物に直接触れる製品です。衛生管理には万全を期し、生産ラインに一度かけると、出来るまで人の手は一切触れません。いろいろなセンサーやカメラでチェックしますが、最後は人の目によって、機器では判断できない部分を点検しています。

クラップは1960年に日本初の家庭用ラップ「クラップ」を生産、発売しました。89年には「NEWクラップ」に模様替えし、さらに使いやすく、便利な製品を開発しています。

衛生管理万全 最後は人の目

協賛会社とベルマーク財団の交流の一環として、クラップ(ベルマーク番号10)の茨城県小美玉市にある樹脂加工工場を訪ね、おなじみの「NEWクラップ」の生産現場を見学しました。この事業所では、ラップのほか、ケチャップ用のソフトボトル「プロエース」など、クラップの技術を駆使した食品包装材料を生産しています。

協賛会社とベルマーク財団の交流の一環として、クラップ(ベルマーク番号10)の茨城県小美玉市にある樹脂加工工場を訪ね、おなじみの「NEWクラップ」の生産現場を見学しました。この事業所では、ラップのほか、ケチャップ用のソフトボトル「プロエース」など、クラップの技術を駆使した食品包装材料を生産しています。

3万人超が受講 おこづかい教育 シュラルタ生命

協賛会社のシュラルタ生命(ベルマーク番号15)が全国で開いた「おこづかい教育」が人気です。「ベルマーク大使」第一陣7人の一人、同社の松本哲(あきら)さんが考案した企画です。すでに3万人以上が受講しています。

横濱市の生麦小学校での講師はシュラルタ生命横浜支社の「金融知力インストラクター」版です。藤田(こも)哲(あきら)さんです。日本PTA全国協議会の推薦書(8巻)からのお給付袋「おこづかいが子どもの人生を変える」にそって講習会を進み、参加者とお金の付き合い方を教えるのは、しつとこ同じ。藤田さんはそう話します。

学びを育む 教育応援隊

ふたんの授業とはひと味違う体験と感動の場を提供して好評のベルマーク財団の「教育応援隊」が、全国100以上の学校を訪ねます。ベルマーク版「オサー・ビジット」、「ミスノ・スポーツ教室」(走り方・サッカー)、シャ(Shin)国際ボランティア会が結成している「絵本を届ける運動」があります。ふるって応募してください。

オサー・ビジットとスポーツ教室は、ベルマーク預金から3万円(消費税別別途2100円)を支払います。それを除く必要経費はご負担ください。

『ぼくがラメンタベーター』(日本絵本協会)の教育活動、「おたまたまのおかきさん」(講談社出版文化賞絵本賞。解放出版社)のベルマーク版。解放出版社の「おあちやんがどく」(講談社)など著書多数。沖縄の小学生の詩を絵本にした「へいおっ」(MOE)を出版した大賞「1位」(ブロンズ新社)が話題を呼んだ。

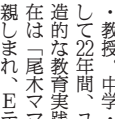
『ぼくがラメンタベーター』(日本絵本協会)の教育活動、「おたまたまのおかきさん」(講談社出版文化賞絵本賞。解放出版社)のベルマーク版。解放出版社の「おあちやんがどく」(講談社)など著書多数。沖縄の小学生の詩を絵本にした「へいおっ」(MOE)を出版した大賞「1位」(ブロンズ新社)が話題を呼んだ。

ベルマーク版オサー・ビジット



長谷川義史 1961年生まれ。大阪府生まれ。イラストレーター。人気作家。

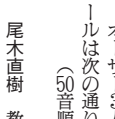
尾木直樹 1947年生まれ。法政大学教授。学教職課程センター長。22年間、ユニークで創造的な教育実践を展開。現在は「尾木ママ」の愛称で親しまれ、Eテレ「ウワサの保護者会」をはじめ、テレビなど多方面で活躍中。「学び」という希望(岩波ブックレット)、「親子共依存」(ポプラ新書)、「尾木ママの女の子相談室」1・2(ポプラポケット文庫)など著書多数。



尾木直樹 1947年生まれ。法政大学教授。学教職課程センター長。22年間、ユニークで創造的な教育実践を展開。現在は「尾木ママ」の愛称で親しまれ、Eテレ「ウワサの保護者会」をはじめ、テレビなど多方面で活躍中。「学び」という希望(岩波ブックレット)、「親子共依存」(ポプラ新書)、「尾木ママの女の子相談室」1・2(ポプラポケット文庫)など著書多数。



山崎直子 宇宙飛行士。千葉県生まれ。2010年、スペースシャトル「ディスカバリー」で宇宙へ。国際宇宙ステーション組み立てに従事。11年、宇宙航空研究開発機構を退職。内閣府宇宙政策委員会委員、日本宇宙少年団(VJA)アドバイザー、ふたつの教育復興応援団などを務める。著書「宇宙飛行士になる勉強法」(中央公論新社)、「夢をつかむ」(角川書店)、「珊瑚色の星」(世界文化社)など。

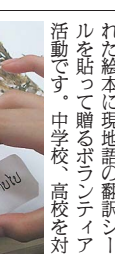


山崎直子 宇宙飛行士。千葉県生まれ。2010年、スペースシャトル「ディスカバリー」で宇宙へ。国際宇宙ステーション組み立てに従事。11年、宇宙航空研究開発機構を退職。内閣府宇宙政策委員会委員、日本宇宙少年団(VJA)アドバイザー、ふたつの教育復興応援団などを務める。著書「宇宙飛行士になる勉強法」(中央公論新社)、「夢をつかむ」(角川書店)、「珊瑚色の星」(世界文化社)など。

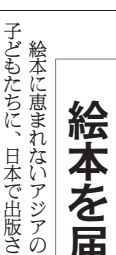
「オサー・ビジット」は、尾木直樹先生と山崎直子先生が、子どもたちに読んでほしい絵本を届ける運動です。絵本を届ける運動は、子どもたちに、日本でも出版された絵本に現地語の翻訳シートを貼って贈るボランティア活動です。中学校、高校を対象に20校を募集します。



絵本に思えないアジアの子どもたちに、日本でも出版された絵本に現地語の翻訳シートを貼って贈るボランティア活動です。中学校、高校を対象に20校を募集します。



絵本に思えないアジアの子どもたちに、日本でも出版された絵本に現地語の翻訳シートを貼って贈るボランティア活動です。中学校、高校を対象に20校を募集します。



絵本に思えないアジアの子どもたちに、日本でも出版された絵本に現地語の翻訳シートを貼って贈るボランティア活動です。中学校、高校を対象に20校を募集します。



絵本に思えないアジアの子どもたちに、日本でも出版された絵本に現地語の翻訳シートを貼って贈るボランティア活動です。中学校、高校を対象に20校を募集します。



ミスノ・スポーツ教室

小中学校を対象に、スポーツ用品メーカーのミスノが専門のコーチを派遣し、実技を中心に基礎から指導します。「走り方教室」と「サッカー教室」を合わせて12校で開催します。

部活動・クラブ活動 キャンペーン!!

OPTIMAX プレゼント!



コック式の注ぎ口が便利!

据え置きタイプの浄水器 5.3Lの大容量タンクだから、みんなでのシェアに最適!

応募要項

募集期間:4月1日(金)~7月1日(金)
参加条件:水分補給を要する部活動・クラブ活動団体であること(小中学校部活動・クラブ活動、地域クラブ団体含む)
学校(所属団体)からの許諾、活用シーンを写真にて報告いただける事(SNS掲載の可能性あり)
応募方法:専用WEBサイトにて、学校兼団体名、部活動名(チーム名)、代表者名、連絡先、配送住所、必要数を明記
抽選方法:4月開始から毎月抽選/合計50団体へ

BRITAの交換用フィルターカートリッジの特徴

- 浄水性能12項目除去
- 日本仕様カートリッジ
- 地球にも家計にもやさしい